



夢と生きる力を育む教育環境の整備

- 質の高い教育と様々な課題を抱える子どもたちへの対応を充実させるためには、教員がきめ細かく子どもに関わることができる教育環境を整えることが不可欠。一層の定数の改善や加配の充実を図られたい。
- 教員が持てる力を最大限に発揮し、教育効果を高めるためには、教職員が笑顔で働くことのできる職場環境づくりが必要。学校における働き方改革推進のための多様な人材の参画拡充を図られたい。

【提案・要望先】文部科学省

1. 提案・要望内容

(1) 新しい時代の学びの環境整備および多様な教育課題への対応

○ 少人数教育のさらなる推進

- ・ 少人数学級編制拡充のための定数改善（中学校および高等学校における 35 人学級編制の実現、小学校における 35 人未満学級編制の検討等）
- ・ 少人数習熟度別指導等の充実のための指導方法工夫改善定数の現行数維持

○ 専門性の高い教科指導を実現する専任教員の配置

- ・ 小学校における教科担任制を一層推進するための専科教員の基礎定数化

○ 複雑化・困難化する教育課題に専任する教員配置の拡充

- ・ いじめや不登校、暴力行為の解消を目指し、指導体制を強化する専任教員の拡充
- ・ 教育相談機能充実のための養護教諭の複数配置基準の改善
- ・ 共同調理場における栄養教諭の配置基準の改善

(2) 教職員が笑顔で働くことのできる職場環境づくり

（教育効果を高める働き方改革推進）

○ 多様な人材の参画による学校の教育力の向上

- ・ 働き方改革推進のための各種支援スタッフ（教員業務支援員、部活動指導員、情報通信技術支援員等）の拡充
- ・ 校務運営の充実に向けた共同事務推進のための事務職員加配の拡充
- ・ 学校図書館機能充実のための学校司書の定数化

○ 安心して休める職場環境実現のための代替教員の確保

- ・ 1 学期中からの産前休暇について年度当初から代替教員の配置が可能となる仕組み（先読み加配）の創設

2. 提案・要望の理由

(1) について

小学校高学年の教科担任制の充実を図るため、専科教員を基礎定数化することにより、中学校同様の指導体制を構築していくことが重要。また、本県のいじめや不登校、暴力行為の現状と課題、子どもたちの健康課題等を踏まえ、専任教員や養護教諭、栄養教諭の配置の充実を図る必要がある。

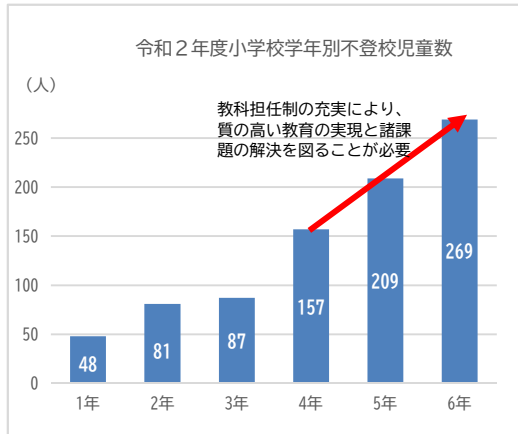
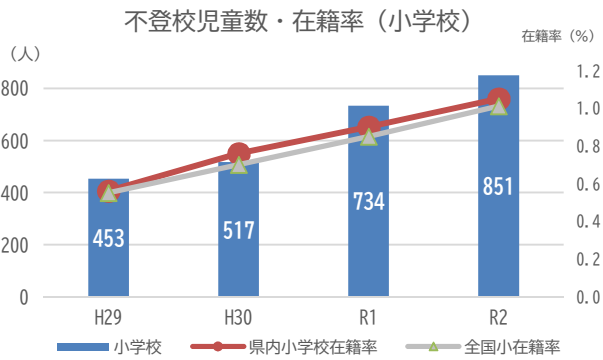
(2) について

教職員が笑顔で働き、教育効果を高めていけるよう、学校における働き方改革を一層推進していくことが必要。そのため、教員業務支援員等の多様な人材の参画や、事務職員、学校司書等の専門職員の拡充を図る必要がある。また、慢性的な臨時講師不足を解消し、誰もが安心して休める環境づくりが急務。特に、年度途中からの産前休暇に対しては、代替教員の確保が困難であることから、1 学期中の産前休暇については、年度当初から代替教員の配置が可能となる仕組み（先読み加配）の創設が求められる。

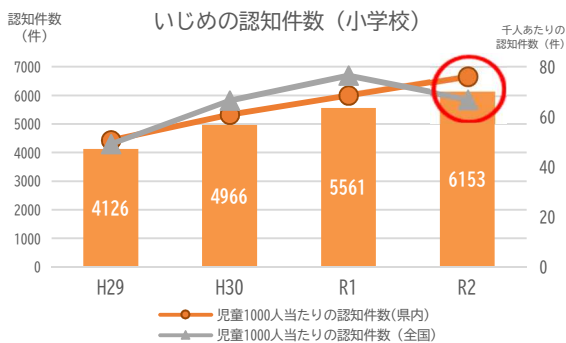
(本県の取組状況と課題)

本県は、いじめや不登校、学力、体力の向上、特別支援教育などの課題を総合的に解決するために、少人数学級編制を小中学校全学年で実施するとともに、個に応じた習熟度別学習指導等に取り組んでおり、一定の教育効果を挙げている。しかし、依然として教育課題が多く、特に、いじめなど問題行動の低年齢化が深刻な状況となっている。このため、生徒指導等に対応する専任教員等の配置を拡充するとともに、小学校高学年における教科担任制をより一層充実させる体制づくりにより、多くの教員で子どもたちを多角的に見取り、組織的に問題の未然防止や早期発見・早期対応を図っていくことが必要である。

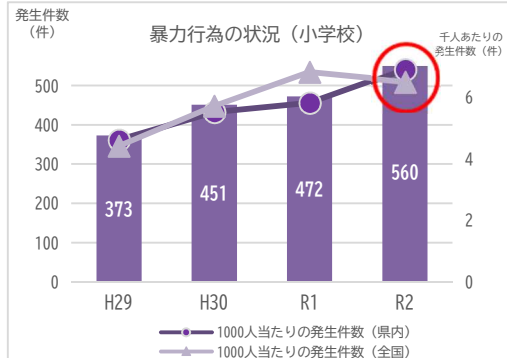
不登校・いじめ・暴力行為等への継続的な対応が必要



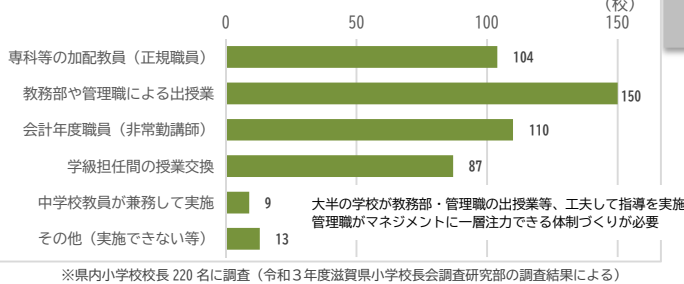
小学校における不登校児童が増加傾向
小学校は、学年が上がるにつれて増加の傾向



小学校におけるいじめ認知件数、暴力行為発生件数は、令和2年度増加、全国値を上回る結果となった

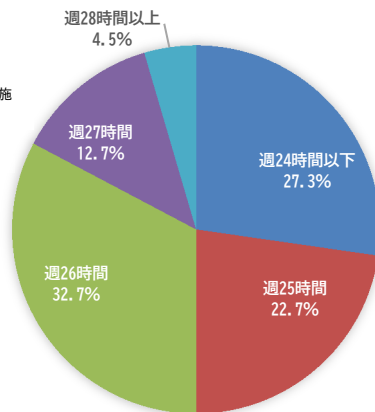


どの教員が教科担任制を担っているか（複数回答可）



小学校における教科担任制の一層の推進のため専科教員の基礎定数化が必要

第6学年担任の過当たり持ち時数



（令和3年度滋賀県小学校長会調査研究部の調査結果による）

教科担任制充実のためには、中学校と同様の持ち時数とするなどの指導体制が必要
※県内中学校（十三学級）における担任一人あたりの持ち時数は、週十九時間程度

教科担任制を導入したい教科（複数回答可）

